

# わたしの ひとこと



伊勢崎 まゆみさん  
(宮守町)

このコーナーは、市民の皆さまのまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

## 「遠野に移り住み感じたこと」

自然と寄り添った生活がしたいと、横浜から遠野に移り住んで4年が経ちました。

私の住んでいる地区には「神楽」があり、去年から参加しています。地域の色々な世代が集まって練習をし、話し、毎週顔を合わせるの、普段みんなが何をしているか何となく把握できます。住んでいるご近所、地域の方の顔が分かるというのは、都会から来た私には凄いと。東京にいた時は、近所の人とは他人のようでしたが、この

ご近所さんは皆、他人の間柄ではありません。

この「他人じゃない関係」が、横浜から来た私にはとって心強く、さらに遠野生活を豊かにしてくれます。しかし、残念ながら年々踊り手が減り、若い人のほとんどは移住してきた女性ばかり。伝承する苦労があります。伝統芸能から広がる縁、学び、絆の輪を住む地からもう一度見つめ直し、この先もずっと続いてほしいです。

# 皆さまからの議会への提言をお待ちしております

## 編集後記



3月11日発生の東日本大震災により沿岸地域の街並みは一瞬のうちに消え去りました。巨大な船は建物に押し上げられ、ガレキの中には無数の車が転がり、死者・行方不明者の数は全国で2万数千人。目を覆うばかりの大惨事となりました。

当市では地震発生と同時に災害対策本部を立ち上げ、地区センターや消防団、市民ボランティアによる統率の取れた後方支援活動をいち早く始めました。

正確な情報伝達と指揮命令系統の一元化により、地域が一つになり支えあいながら行動し、その結果、相互に安心感が生まれ、混乱状態に陥らなかったのは幸いでした。

「訓練は実践のごとく、実践は訓練のごとく」と言われます。今回の震災では、防災訓練の大切さと、お互いの厚い信頼と結束による落ち着いた協働がいかに大切であるかということを教訓として学んだように思います。  
(大三郎)

### 広聴広報特別委員

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 瀧澤 征幸  |
| 副委員長 | 菊池 由紀夫 |
| 委員   | 多田 大三郎 |
| 同    | 龍本 勉   |
| 同    | 萩野 幸弘  |

**お詫び** 議会だより24号(5月19日発行)の7ページ中、議案第11号の採決結果が誤っておりました。「全員賛成」となっておりますが、正しくは「賛成18・反対2」です。お詫びして訂正いたします。

**お知らせ** 次の定例会は、9月2日(金)から9月15日(木)までの14日間を予定しています。改めて議会運営委員会で決定されます。審議日程などの詳しいことは、議会事務局にお尋ねください。



有機溶剤を使わない環境にやさしい植物性インキで印刷しています。